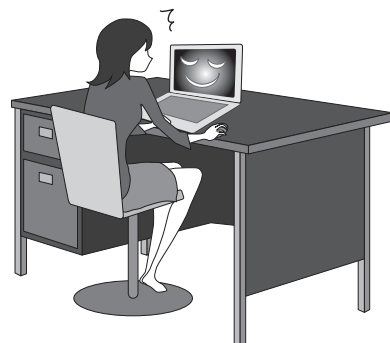


Cyberchondria

▼ サイバーコンドリアってなに？

身体に病変や体調不良を感じたとき、その症状をインターネットで検索する人は少なくないと思います。そこでは風邪のような小さな病から、入院や手術が必要な大きな病までたくさんの検索結果がヒットします。サイバーコンドリアとは、インターネットで得た病気の知識を鵜呑みにしてしまい不安になる人たちの、一種の心気症（ノイローゼ）のことを言います。簡単に言えば「杞憂」です。最近見られるインターネットの普及（情報への容易なアクセス、ネット依存）と個人レベルでの医療への関心の高まりが原因とされています。



▼ サイバーコンドリアの実例

Case.1 頭痛 長引く search



最近なんだか
頭痛が長引くなあ……。



もしかして、脳梗塞！？
脳腫瘍！？



実際はPC作業や勉強など長時間のデスクワークによる肩こりが原因だった（緊張性頭痛）。

Case.2 せき 止まらない search



熱と鼻水は治ったけど
せきが止まらないなあ……。



もしかして、肺炎！？
結核！？



実際は風邪の後遺症だった（激しくせき込んだせいで喉がただれてしまったのが原因）。

誤った自己診断をしても病院に行き医師から正しい診断と治療を受ければ問題ありません。しかし、サイバーコンドリアの方の中には、医師からの診断を受けてもその結果を受け入れられないほどに思い込みの激しい方、そもそも病院に行かず自己治療を行う方などもあります。前者はモンスター・ペイシエントの一例として、後者も正しい治療の妨げとして、問題視されています。

▼ サイバーコンドリアにならないために

最近テレビで医療系のドラマや特集を見る機会が多くなりました。個々人が医療に対して高い関心を持つようになったこと、それ自体は素晴らしいことでしょう。しかし、素人判断でいたずらに不安がっているのは仕方ありません。情報が錯綜する現代、インターネットとは正しく付き合い、思い込みで早合点しないようにしましょう。

Reference

White, R. W. & Horvitz, E. (2009). Cyberchondria: studies of the escalation of medical concerns in web search. ACM Transactions on Information Systems (TOIS), 27(4), 23.